

白川 長廣

オリオンプラザ第2ビルが取り壊され更地になった。地元紙に「仮設トイレ」ができることが報道されていた。今の駅トイレの位置が仮改札口になるため、新駅舎完成までの間「仮設トイレ」を造るとのこと。学園&地域交流ネットワークは、「北九州市福祉のまちづくりネットワーク（以下、まちネット）」に参加しているが、多目的トイレ等の話は伝わって来てなかった。そこで「まちネット」を通して、状況を確認してもらった。多目的トイレもできるとのこと。どのようなものができるのか図面を見せてもらう。確かに建築基準は満たしているが、室内設備の組み合わせや使用状況を把握していないために起こる使いにくさがいくつも出てきた。そのことを指摘し改善を求めるが「仮設」だから経費をあまり掛けられない、と断られた。

「仮設トイレ」と言いながら短くて8年、今の状況から考えると10年いやもっと使うことになるかもしれない。もはや「仮設トイレ」とは言えないものである。

粘り強く改善を求め、また、幸いにも「折尾まつり」に市長が出席されていたので要望を伝えた結果、改善されることになった。しかし、すでに設計図が描かれていたこともあり、改善できない点もいくつか残された。

「まちネット」では、図面の書き換えが可能な段階で相談させて欲しいと、以前から伝えていた。また、「おりお未来21」から市に出された提言書（折尾まちづくりビジョン）には、～「人が主役、やさしさいっぱいのおまち」を目指して～とメインテーマに掲げられ、「計画段階からわかりやすい情報提供を行い、より良いハードの充実を目指す」とされている。

「おりお未来21」の役員の中から「基準があるから、ほっといてもユニバーサルデザインになる」という声が聞こえていた。そうではなく「ユニバーサルデザインは、一つ一つ議論を重ねた結果出来上がるものであり、まちづくりも同様である」ことを肝に銘じておかなければならない。

折尾駅舎を「改札口」として活用する会

6月8日に、折尾駅前で折尾駅の利用者にアンケート調査を行い162名が回答しました。

質問①「折尾駅舎の取り壊しを知っていますか？」

「知っている」が48%（82人）、「知らない」が52%（80人）

質問②「折尾駅舎を残したいですか？」

「残したい」が83%（142人）、「どちらでもいい・わからない」が9%（15人）、

「残さなくてよい」8%（14人）

アンケート調査の結果、「折尾駅舎を残したいが8割を超えていた」ことに驚きました。

これでも折尾駅舎取り壊しは、地域住民の声なのでしょうか？

折尾駅舎保存の署名活動に、ご協力ください！

折尾駅舎解体が目前になった今、私たちの提案は下記の通りです

- ①「仮改札」は、折尾駅舎の形で、「待合室」を含め、現存の部材を最大限に活用する。
- ② 将来、この建物を「改札口」等として活用し、折尾の街のシンボルとする。
- ③「折尾駅舎」のレトロな雰囲気漂う街づくりで、観光客が訪れる街にする。

署名用紙などを含めた問合せ先

電話：090-9407-1193、メール：orioekisya2011@yahoo.co.jp